

本願寺 横浜別院だより 力

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一―十一―八

(〇四五) 八四一―三四三四

FAXTEL (〇四五) 八四一―三四二八
(http://www.yokohama-otani.com)



本願寺横浜別院・本堂再建五十一年
神奈川教化センター・開所十周年

出会いと別れ

輪番 森田 成美

毎年の事ではありますが、三月四月という時季はいろいろな場面で出会いと別れを繰り返して来たように思います。横浜別院の境内に併設されております大谷幼稚園におきまして、三月に卒園児を送り出し、四月に新入園児をお迎えする卒園式と入園式が行なわれ悲喜こもごもの感を抱くことでもあります。

さて、本山東本願寺から発行されております『同朋新聞』の二〇二六年二月号の表紙の写真には本山参拝する京都市の大谷保育園の園児の姿が写し出され、その背後に、さまざまな法語を掲げた行灯の言葉が見取れます。

そこには、

人は出会いによって育てられ

とあります。同じような言葉ですが以前、

出会いによって人生は豊かになり
別れによって深くなる

という言葉をお示しいただいたこともありました。確かに私たちは、「人間」関係性を生きるものでありますから、出会いによっ

て育てられ、豊かになるという言葉は考えなくてもなる程と肯くことは出来るのですが、別れによって深められる、深くならないという言葉ははてなと考えさせられるのではないのでしょうか。

別れによって人生が、私の生き方が深められる、深くなるとはどういうことなのか。様々な別れの中で一番辛いのは、愛別離苦、愛しい人との別れ(死別)であります。その大切な人との別れが私の人生を深めてくれるとは中々受け止めることは出来ません。しかしながら、大切な人を亡くした悲しみの中から、今私がおこに生きています。ということの意味や意義があらためて問われてくる、問うていかなければならない大事なご縁をいただいたということでないでしょうか。

アンパンマンは、

「なんのためにうまれてなにをしようか。こたえられないなんてそんなのいやだ！」って歌ってますが、私たちは、大事なことを置き忘れ、忙しい忙しいと日々を空しく過ごしているのではないのでしょうか。

みずすまし

水馬しきりに円を描きける

汝 いずこより来り

いづれに旅をせんとするか

へい お忙しおましてナ

村上志染

共々に賜った人生、水馬で終わることのないように深めてまいりたいと思います。

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

定例法話 午後1時30分より

- 3月9日(月)横浜組 光勝寺 高藤英夫氏
- 3月28日(土)別院 列座 佐竹大樹
- 4月9日(木)三浦組 勸明寺 藤尾明信氏
- 4月28日(火)別院 列座 家本久和
- 5月9日(土)首都圏開教者会 往還寺
松下照見氏

※法話終了後の「座談会」開催しています。

※5月28日の定例法話は休みです。

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

- 5月18日(月) 午後1時30分～3時
- 8月18日(火) 午後1時30分～3時
- 11月18日(水) 午後1時30分～3時

内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。

【講師】家本久和 (横浜別院列座)

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本をお持ちでない方はこちらで準備します。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

横浜別院同朋の会・おみがき会

6月13日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

※古くなったタオルをお持ちください。

【2025年度別院護持金について】

2025年9月にご門徒の皆様へ今年度「別院護持金」のご依頼をさせていただいております。すでにお手紙が届いているかと思いますが、お忘れの方は今一度ご確認お願い致します。ご不明な点は、お手数ですが別院までご連絡をお願い致します。 合掌

春季彼岸会法要 午後1時30分～3時

3月22日(日)・23日(月)

【法話】名倉 幹 氏(真宗大谷派北米開教使)

永代経法要 午後1時30分より

5月28日(木)・29日(金)

【法話】海 法龍 氏(三浦組長願寺住職)

この法要は、私までいのちを届けてくださった先輩・先達に想いを馳せ、そこに相続されてきた本願のみ教えを聞きひらき、私の人生を問い直す大切な御仏事であります。

末法濁世の様相を呈して混迷を深めていく現代社会にあって、いよいよ真実の教法に照らされて生きることが願われるのであります。どうぞご参詣ください。

グリーフケアのつどい

- 【日時】 4月11日(土) 午後2時～
- 6月13日(土) 午後2時～
- 8月8日(土) 午後2時～

突然起きてくる人間の悲しみに共感を求めてグリーフケアを行なっています。

※参加費・申し込みは不要です。

【別院同朋の会 会員随時募集】

横浜別院では、別院同朋の会の皆様と研修旅行や団体参拝など様々な行事を行なっております。現在二十名程の会員がおります。

お手次寺(所属寺)が横浜別院と異なっても、会員になれます。

ご興味がある方は、担当：家本までご連絡ください。年会費は3,000円です。

編集後記

昨年「昭和100年」ということで、一年間多くのメディアで取り上げられ、昭和にまつわる様々な企画や特集が組まれた事は記憶に新しいことです。昭和生まれの私としては、いつの間にか昭和100年になっていたのか、どこか不思議な時間感覚があります。横浜大空襲で灰燼に帰した本堂が再建されたのが昭和50年でしたので、今年で51年経ちました。二〇二四年十月一日現在の元号別の人口の割合は明治・大正生まれ24万7000人(0.2%)、昭和生まれ841万1000人(6.8%)、平成生まれ351万5000人(2.8%)、令和生まれ430万人(3.5%)ということでした。今のところ、昭和生まれが約七割占めています。これからの人口減少と共には様々な形の「経年劣化」と思っています。(家本)